

第1回
定例会令和4年度当初予算
一般会計・水道事業会計
否決 下水道事業会計

当初予算総額185億9,609万5千円で議会に上程

一般会計予算・水道事業会計予算・
下水道事業会計予算を **否決**賛成 6
反対 7

一般会計予算・水道事業・下水道事業会計予算に関する質疑

水道料金漏水認定減免基準の一部を改正する規程の中の漏水認定基準の改正内容が、社会福祉施設に限定したものであることから、認定基準の改正及び関連した予算について質疑がありました。

質疑 漏水減免基準を改正した理由と過程は。

答弁 社会福祉施設の管理者から町に相談があり、「水道の漏水により10年間で2,500万円の損害があった。町で少しでも補償してほしい。対応しなければ訴訟も考える」との話があった。町は2,500万円のうち1年分の300万円位なら救済すべき、してもよいだろうとの判断で、2月の例規審査会を経て漏水減免基準を改正した。

質疑 水道のお客センターでは、漏水の疑いがあるところには毎月の検針時に知らせているし、パイロットメーターを開けてこのように回っていますと説明もしている。それなのに10年間漏水を放っておいたのは施設側である。町に瑕疵がないのであれば戦えばよいのでは。

答弁 町に瑕疵があったかどうかを裁判で争うこと自体が好ましくないと考える。

特別会計の予算 **可決**

第1回定例会での予算審議

会 計 名		上程された予算額	可決された予算額
一般会計		100億2,800万円	否決
特別会計等	国民健康保険特別会計（事業勘定）	22億7,355万4千円	22億7,355万4千円
	国民健康保険特別会計（施設勘定）	2億3,605万2千円	2億3,605万2千円
	後期高齢者医療特別会計	2億5,899万5千円	2億5,899万5千円
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	25億362万2千円	25億362万2千円
	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	510万5千円	510万5千円
水道事業会計		12億1,804万円	否決
下水道事業会計		20億7,272万7千円	否決
合 計		185億9,609万5千円	52億7,732万8千円

第2回 臨時会

令和4年度当初予算修正を行い 一般会計・水道事業会計 可決 下水道事業会計

一般会計予算減額の内容

減額修正総額5,431万8千円

《民生費》

- ・放課後児童クラブ（おひさま学童クラブ）設備整備に関する事業費5,272万1千円減額

《土木費》

- ・水道料金漏水認定減免基準の一部を改正することに伴い漏水還付金を減額したため、下水道事業会計への補助金159万7千円減額

水道事業会計予算減額の内容

漏水還付金を減額

- ・水道料金漏水認定減免基準の一部を改正することに伴い
水道料の漏水還付金207万3千円を減額し、水道設備の修繕工事に充てるもの

下水道事業会計予算減額の内容

減額修正総額159万7千円

- ・水道料金漏水認定減免基準の一部を改正することに伴い
下水道料金の漏水還付金159万7千円減額

一般会計予算・水道事業・下水道事業会計予算に関する質疑

質 疑 おひさま学童クラブ整備事業費、水道料金漏水還付金を取り下げた理由と、今後予算に復活し計上されることはあるのか。

答 弁 取り下げた理由は、第1回定例会最終日の反対討論において、議員からの指摘が多かったため、取り下げた予算は必要な予算と今でも思っているため、復活できるかは今後議会議員の判断にかかっている。

質 疑 おひさま学童クラブ整備事業費を削除したことに関して、学童クラブの父母会と話し合いしたのか。

答 弁 父母会との話し合いはしていない。

質 疑 道の駅かつら移転整備に関して、基本設計と実施設計を同時にやる予算などあり得ない。本来、基本設計を行った中で、実施設計の内容が決まるものだが。

答 弁 短期間で設計を仕上げるため、基本設計・実施設計の予算を同時に計上した。

第2回臨時会での予算審議

会 計 名	可決された予算額
一般会計	99億7,368万2千円
水道事業会計	12億1,804万円
下水道事業会計	20億7,113万円
合 計	132億6,285万2千円

全ての当初予算が可決し、予算総額185億4,018万円となる